

第二次足立区子ども読書活動推進計画（概要版）

1 計画の基本

（１）目的

「第二次足立区子ども読書活動推進計画」は、足立区のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことが出来るよう、家庭、地域をはじめ図書館、学校などの役割を明確にしたものです。

区民と区が連携して子どもの読書活動を推進していくための施策の方向性や取り組みを示します。

（２）性格

「子どもの読書活動の推進に関する法律」第九条に基づいて策定された国の基本的な計画及び東京都の推進計画を基本に、法の趣旨及び足立区の状況を踏まえた法定計画として策定します。

足立区基本構想を受け、足立区基本計画・足立区教育基本計画・足立区図書館計画などとの整合を図ったうえで、第12期足立区社会教育委員会議答申を反映させた、子どもの読書活動推進分野における総合的な計画として策定します。

足立区基本計画を受け、「足立区重点プロジェクト推進戦略」プロジェクト1「子ども」の中から、特に子どもの発達及び成長に着目した、「子ども施策3カ年重点プロジェクト推進事業計画」を策定しました。この計画の基本理念《たくましく 生き抜く力を 育む》との整合を図って策定します。

平成15年3月に策定した「足立区子ども読書活動推進計画」（第一次）の基本的な考え方を引き継ぎ、平成18年度から取り組んでいる「読み語り推進キャンペーン」など、これまでの施策の成果や取り組み内容などを評価・検証し、子どもを取り巻く社会環境の変化を踏まえ策定します。

（３）対象

本計画の中での「子ども」とは、0歳から概ね18歳までを対象とします。

（４）期間

平成21年度から平成25年度（5年間）

2 計画の3つの柱

(1) 子どもに関わるさまざまな場所での子どもの読書環境の整備

子どもたちが読書習慣を身に付けることができるように、家庭・地域・図書館などで、子どもたちが発達に応じた本に出会い親しむ機会を提供していきます。

特に公立図書館と各関連諸機関が連携し、読書環境の整備、充実を行うことにより、児童図書の出しや団体貸出の利用を促進します。

(2) 学校における読書環境の整備

学校は子どもたちが多くの時間を過ごす場所であり、読書習慣を身に付ける絶好の場です。学校における読書環境を整え、子どもたちが読書に親しむ機会を提供することにより、1か月に本を1冊も読んでいない児童・生徒の割合を減少させます。

(3) 子どもの読書活動推進に関わる人材の育成・活動支援

幼稚園・保育園・学校や図書館など関係諸機関の職員に対する講座等を実施し、専門性を高めます。また子どもの読書活動に関わる地域人材を育成するとともに新たな人材を増やしていきます。さらに活動の担い手のスキルアップのための講習会の充実やボランティア活動をするための物品の貸出等を進めていきます。

3 成果指標

この計画が効果的に進められているかを客観的に測定し、達成度を評価するための成果指標を、計画の3つの柱に合わせて設定しました。

計画に基づき行うさまざまな取り組みは相互に影響することで相乗効果をもたらし、読書環境の整備が進むものです。そのため成果指標は、第3部の具体的な取り組みの実施回数等がわかるものと、取り組みによる成果がわかるものの目標値を設定しました。

4 5つの施策

本計画推進のため、具体的な施策を5つ設定しました。

- (1) 家庭・地域、民間団体における子どもの読書活動の推進
- (2) 公立図書館における子どもの読書活動の推進
- (3) 学校における子どもの読書活動の推進
- (4) 幼稚園・幼保園・保育園などにおける子どもの読書活動の推進
- (5) 情報の発信と関係機関の協力・連携

5 子どもの読書活動を推進するための具体的な取り組み

(1) 家庭・地域・民間団体における子どもの読書活動の推進

家庭や地域において様々な機会に子どもの読書活動の重要性を伝える活動を充実させていくとともに、図書館をはじめとした地域の関係機関が連携し、家庭や地域における読書環境の整備を支援していきます。

具体的な取り組み

- 1 「子どもの読書活動」啓発講演会の実施
- 2 子育て施設の図書コーナーの整備と貸出しの充実
- 3 子育て施設におけるおはなし会の充実
- 4 子育てサークル等への支援（新規事業）
- 5 読み語り活動団体の連携・活動支援（新規事業）
- 6 地域団体を通じた啓発
- 7 発達支援児への読書活動支援
- 8 大学との連携（新規事業）

(2) 公立図書館における子どもの読書活動の推進

公立図書館は、質の高いサービスを子どもにとって利用しやすい形で提供していくとともに、学校図書館をはじめ、身近な施設に対して支援を強化し、子どもの読書活動の推進を図ります。

具体的な取り組み

- 1 子どもたちが利用しやすい図書館の環境づくり
- 2 年代別（18歳まで）図書資料の充実
- 3 館内おはなし会・映画会の実施
- 4 中学生・高校生向けサービスの充実
- 5 「子どもの図書館活動」の充実
- 6 インターネットによる情報提供の充実
- 7 さわる絵本・布絵本・大活字本の充実
- 8 「キャリングバッグ」による絵本の貸出し（新規事業）
- 9 「ブックスタート」の充実と支援
- 10 「プレママとプレパパのためのおはなし会」（新規事業）
- 11 多文化を知るおはなし会（新規事業）
- 12 児童館・学童保育室職員・読み語りボランティア等対象の読み語り講習会の開催
- 13 児童サービス担当職員のレベルアップ研修の充実
- 14 図書館ボランティア活動の推進
- 15 小学校入学時図書館利用案内の配布
- 16 学校への「おすすめ本リスト」の配付
- 17 図書館情報の提供

- 18 学校配送サービス事業の実施
- 19 「総合的な学習の時間」・「調べ学習」のため利用手引き・参考冊子、リストの作成と配布
- 20 公立図書館員による学校での読み語り等の実施
- 21 学校図書館活動への支援

(3) 学校における子どもの読書活動推進

学校においては、児童生徒の発達段階に応じた読書に親しむ態度を育て、読書習慣を身に付けるために読書活動を推進していくとともに、学校図書館の蔵書の整備を進めていきます。

また、学校図書館の読書センター、学習センター、情報センター機能を充実させ、児童生徒が主体的、意欲的な読書活動や学習活動に取り組める環境づくりを進めます。

具体的な取り組み

- 1 学校経営方針に沿った読書活動の推進（新規事業）
- 2 利用指導の充実
- 3 家庭への読書活動の推進（新規事業）
- 4 学校図書館図書の本整備
- 5 学校図書館の情報化（新規事業）
- 6 学校図書館の施設の充実
- 7 特別支援学級、特別支援学校における読書活動の推進
- 8 学校図書館担当教諭の研修の実施
- 9 学校図書館の読書・学習環境整備（新規事業）
- 10 公立図書館との連携の強化

(4) 幼稚園・保育園などにおける子どもの読書活動の推進

幼稚園・保育園などにおいては、子どもが絵本に親しみ、多くの図書に接することができるよう環境を整える必要があります。また、保護者に対しても、読み語りの楽しさや意義を伝えていくことが大切です。

具体的な取り組み

- 1 園内における読み語りの充実
- 2 園文庫の整備
- 3 キャリングバッグの活用（新規事業）(再掲)
- 4 成長発達に応じた図書の紹介
- 5 小中学生による園児への読み語りの推進（新規事業）
- 6 ボランティア等によるおはなし会の開催
- 7 読み語りに関する講習会の開催（再掲）
- 8 地域の乳幼児と保護者へのおはなし会の開催
- 9 公立図書館との連携

(5) 情報の発信と関係機関の協力・連携

読書活動の意義や楽しさについて、公立図書館のさまざまな事業を通して積極的に情報提供を行い、区民全体の理解と関心を広め周知啓発を図ります。また、子どもの読書活動を推進していくためには、子どもの生活全般に関わる関係機関が相互に連携・協力して取り組むことが必要です。

具体的な取り組み

- 1 「春・秋の読書週間」・「家族ふれあいの日」を中心とした啓発広報の推進
- 2 図書館利用案内やおすすめ本リストの配布（再掲）
- 3 インターネットによる情報提供の充実（再掲）
- 4 図書館情報の提供（再掲）
- 5 読み語り活動団体の連携・活動支援（新規事業）(再掲)
- 6 児童館・学童保育室職員・読み語りボランティア等対象の読み語り講習会の開催（再掲）
- 7 児童サービス担当職員のレベルアップ研修の充実（再掲）
- 8 学校図書館との連携の強化（再掲）
- 9 「子どもの読書活動推進会議」の設置（新規事業）
- 10 地域団体を通じた啓発（再掲）

第2部 足立区子ども読書活動推進計画

足立区基本構想

足立区基本計画

平成17～28年度(17～24前期)

基本構想に示した 足立区の3つの将来像

魅力と個性があふれる美しい生活都市
自立し支えあい安心して暮らせる安全都市
人間力と文化力を育み活力あふれる文化都市

《足立区教育目標》

- 1 思いやりと規範意識を持ち、社会に貢献する人を育てる
- 2 自ら学び、考え、行動する、個性と想像力豊かな人を育てる
- 3 心身ともに健やかな、夢や希望を実現する自立した人を育てる
- 4 文化と伝統を大切に、郷土を愛する人を育てる

足立区教育基本計画 平成18～21年度

基本方針

人権を尊び、ともに生きる社会の実現を目指す教育を推進する

個性と想像力を伸ばす学校教育を推進する

区民との協働による生涯に渡る学習活動を推進する

家庭・地域の教育力の向上を図り、青少年の成長を支え育む

地域に根ざした文化・スポーツ活動を支える

足立区重点プロジェクト推進戦略 (平成20～22年度)

- ・プロジェクト1 子ども(たくましく生き抜く力を育む)

子ども施策3カ年重点プロジェクト推進事業 (平成20～22年度)

《基本理念》

=たくましく 生き抜く力を 育む=

足立区子ども読書活動推進計画

平成21～25年度

足立区のすべての子どもたちがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことが出来るよう

- (1) 子どもに関わるさまざまな場所での子どもの読書環境の整備
- (2) 学校における読書環境の整備
- (3) 子どもの読書活動推進に関わる人材の育成・活動支援

3つの柱

5つの施策

計画期間

家庭・地域・民間団体における子どもの読書活動の推進
公立図書館における子どもの読書活動の推進
学校における子どもの読書活動の推進
幼稚園・保育園・保育園などにおける子どもの読書活動の推進
情報の発信と関係機関の協力・連携

(第一次計画)

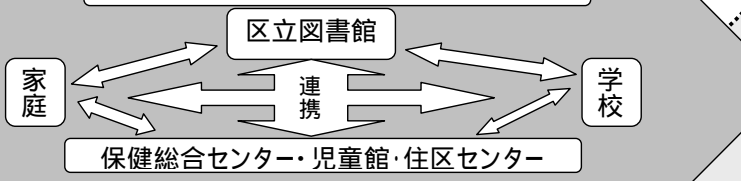
平成 / 年度

15 16 17 18 19 20

(第二次計画)

21 22 23 24 25

推進の担い手の連携 ~ボランティア等との連携~



足立区図書館計画

あだち幼児教育振興行動計画

あだち次世代育成支援行動計画

足立区保育計画

国および東京都の計画

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日
法律第154号
《関係資料参照》

第二次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」

平成20年3月11日閣議決定
《関係資料参照》

計画期間 平成20～24年度

東京都子供読書推進計画 (策定予定)

計画期間 平成21～25年度

文字・活字文化振興法

平成17年7月29日
法律第91号
《関係資料参照》